

新潟県上場企業IRフォーラム2023 資料

第四北越フィナンシャルグループ 個人投資家さま向け会社説明会資料

2023年9月14日



DAISHI HOKUETSU
Financial Group

第四北越フィナンシャルグループ

東京証券取引所 プライム市場 【証券コード：7327】

	第四北越FGの概要		P. 2
	業績の概要		P. 10
	第二次中期経営計画 3大シナジーの発揮		P. 19
	第二次中期経営計画 人的資本価値の向上		P. 37
	第二次中期経営計画 サステナビリティへの取り組み		P. 41
	資本政策・株主優待		P. 49



第四北越FGの概要

■ 銀行や証券に加え、人材紹介や地域商社などを有する新潟県内最大の金融・情報サービスグループ

【プロフィール】

(2023年6月30日現在)



DAISHI HOKUETSU

Financial Group

第四北越フィナンシャルグループ

■ 商号	株式会社 第四北越フィナンシャルグループ
■ 本店所在地	新潟県新潟市中央区東堀前通七番町1071番地1
■ 代表者	代表取締役社長 殖栗 道郎
■ 設立	2018年10月1日
■ 資本金	300億円
■ 連結総資産	10兆7,560億円
■ 上場証券取引所	東京証券取引所 プライム市場（証券コード：7327）
■ 格付情報	(株)日本格付研究所（JCR）：A+（安定的）

金融分野

銀行



第四北越銀行

リース

北越リース

信用保証

第四信用保証
北越信用保証

証券



第四北越証券

リース



第四北越リース

ファンド運営



第四北越キャピタルパートナーズ

カード



第四ジェーシービーカード
第四ディーシーカード / 北越カード

非金融分野

システム



DH-ITS 第四北越ITソリューションズ
第四コンピューターサービス

人材紹介



第四北越キャリアブリッジ

コンサルティング・調査



第四北越リサーチ&コンサルティング

地域商社



ブリッジにいがた

お客さまへ

経営資源の活用やコンサルティング機能の強化による商品・サービスの拡充、利便性の向上

地域社会へ

当社グループのノウハウやネットワークの活用・サステナビリティ経営の実践等による地域社会の発展への永続的な貢献

第四北越フィナンシャルグループ 経営理念

私たちは

信頼される金融グループとして

みなさまの期待に応えるサービスを提供し

地域社会の発展に貢献し続けます

変化に果敢に挑戦し

新たな価値を創造します

…………… 行動の規範（プリンシプル）

…………… 使命（ミッション）

…………… あるべき姿・方向性（ビジョン）

経営統合効果による
当社グループの企業価値の向上

株主の皆さまへ

株主の皆さま

従業員

挑戦・活躍する場を広げることに
よる一人ひとりの働きがいの向上

従業員へ

第四北越フィナンシャルグループ 目指す姿

金融・情報仲介機能の発揮による新たな価値の創造と、経営の効率化を進め、地域の発展に貢献し続けることで圧倒的に支持される金融・情報サービスグループ

新潟県のポテンシャル（基礎データ）

総面積

12,583.96km² 全国**5**位

総人口

215万人 全国**15**位

県内総生産（名目）

9兆1,852億円 全国**17**位

産業・経済 等

新潟県が 全国**1**位 の主な分野

- ✓ 米の産出額 1,252億円
- ✓ 米菓の出荷額 2,186億円
- ✓ 切餅・包装餅の出荷額 279億円
- ✓ 清酒製造免許場数 101場
- ✓ 水産練製品の出荷額 346億円
- ✓ 金属洋食器の出荷額 103億円
- ✓ 石油ストーブの出荷額 453億円
- ✓ ニット製セーター他の出荷額 （男子） 13億円
（女子） 101億円
- ✓ 観賞用錦ごい養殖業経営体数 331経営体
- ✓ 原油の生産量 316,885kl
- ✓ 天然ガスの生産量 1,764,111千m³ etc

県庁所在地 新潟市

本州日本海側 **最大都市**
（唯一の政令指定都市）

新潟港

本州日本海側 **最大の物流拠点**
（明治元年に開港した歴史ある国際貿易港）

交通網の優位性

5方向に伸びる高速道路
（関越・北陸・上信越・磐越・日本海東北）

新幹線は上越・北陸の2路線

国内・国際線を有する新潟空港

出典：新潟県ホームページ
「新潟県の主要指標」「新潟県あれこれ全国ベスト5」
新潟市ホームページ
「新潟港の概要、港湾統計と港湾計画」

- 2018年10月、新潟県内に営業地盤を置く第四銀行と北越銀行の経営統合により誕生



第四銀行

1873年創立

県内シェア No.1



ホクゲン

北越銀行

1878年創立

県内シェア No.2

2018年10月
新金融グループ誕生!

持株会社



DAISHI HOKUETSU
Financial Group

第四北越フィナンシャルグループ

第四北越FGの資産規模

連結総資産※1

10.5兆円

全国の
地方銀行の中で
第16位
の資産規模※2

※1:2023年3月末時点

※2:2023年3月末時点

(各社公表資料等による当社試算。金融グループでの比較)

2021年1月

子銀行の第四銀行と北越銀行の合併

新銀行



第四北越銀行

第四北越銀行の資産規模

預金等残高※3

8.6兆円

貸出金残高※3

5.2兆円

※3:2023年3月末時点



第四北越フィナンシャルグループは設立 5 周年 子会社の第四北越銀行は創立 150 周年

2023年10月1日

 DAISHI HOKUETSU
Financial Group
第四北越フィナンシャルグループ設立 **5** 周年

2023年11月2日

 第四北越銀行
DAISHI HOKUETSU BANK創立 **150** 周年

これからも、地域と共に

150
th

－ 2024年3月期の主な予定 －

各種周年事業の実施

金融展示スペースの新設

 詳細はP8

記念配当の実施

 詳細はP9

150年史の編纂

⋮

New! 2023年7月 OPEN!!

第四北越ミュージアム

DAISHI HOKUETSU MUSEUM

The History of
Nagaoka

長岡のあゆみ



▲詳細はこちら

来場者数は
オープンから1ヶ月で
のべ**4,000名超**

ー 主な展示内容 ー

北越銀行の歴史



北越戊辰戦争からの復興



近代産業の発展



施設のご案内

〒940-0062 新潟県長岡市大手通2丁目3番地10
TEL 025-222-4111 (平日 午前9時30分～午後5時)<https://www.dhbk.co.jp/company/library/museum.html>■ 開館時間 平日・土曜日 午前9時30分～午後7時
日曜日・祝日 午前9時30分～午後6時

■ 休館日 年末年始(12月31日～翌年1月3日)

■ 入館料 無料

■ アクセス 長岡駅から徒歩8分

お越しの際は公共交通機関をご利用ください。
提携駐車場はございません。米百俵プレイス西館 第四北越銀行6階
第四北越ミュージアム

普通配当と記念配当の合計で 1株当たり年間配当金（予想）は140円（前年比+20円）

これからも、地域と共に

普通配当 株主還元方針に基づき業績予想等を踏まえ年間10円の増配

記念配当 FG設立5周年、銀行創立150周年を踏まえ年間10円を配当

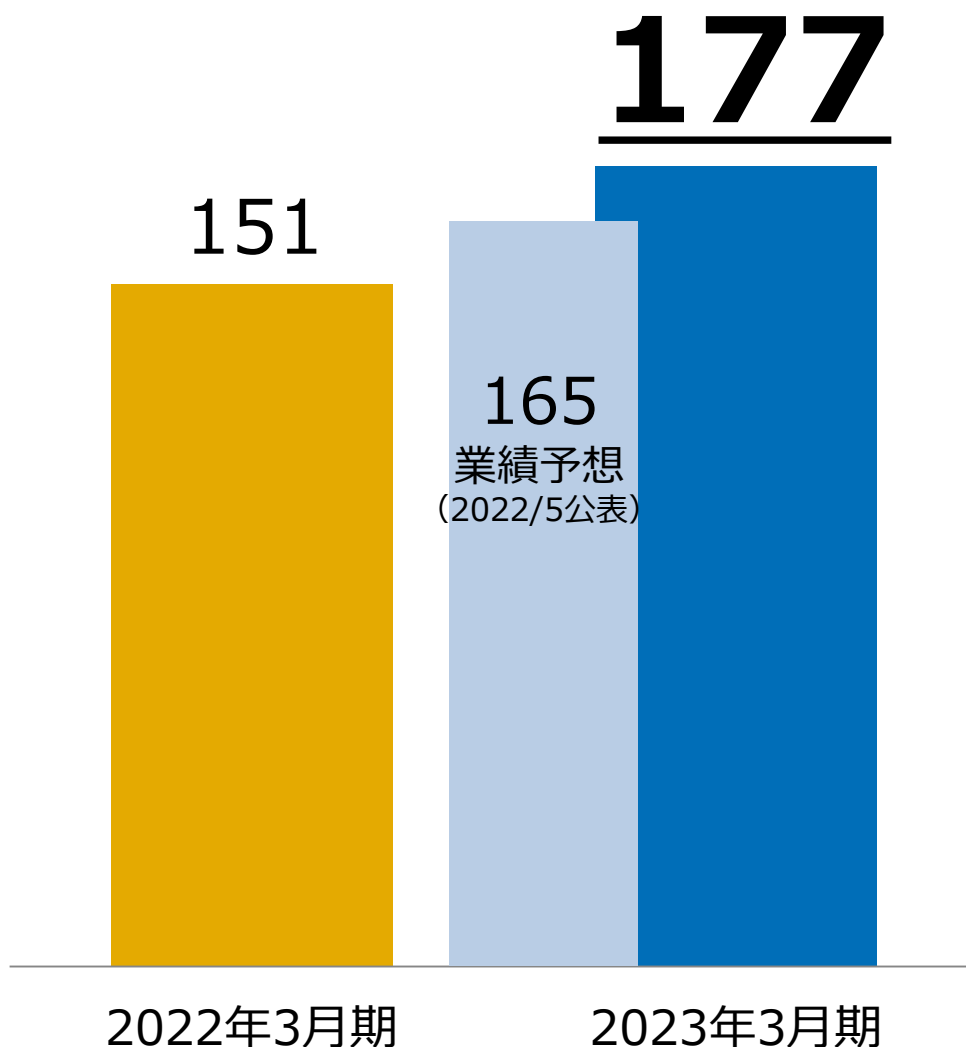


配当の内容	1株当たり年間配当金		
	中間配当金	期末配当金	合計
2024年3月期（予想）	70円00銭	70円00銭	140円00銭
（普通配当）	（65円00銭）	（65円00銭）	（130円00銭）
（記念配当）	（5円00銭）	（5円00銭）	（10円00銭）
2023年3月期	60円00銭	60円00銭	120円00銭



業績の概要

FG連結 (億円)



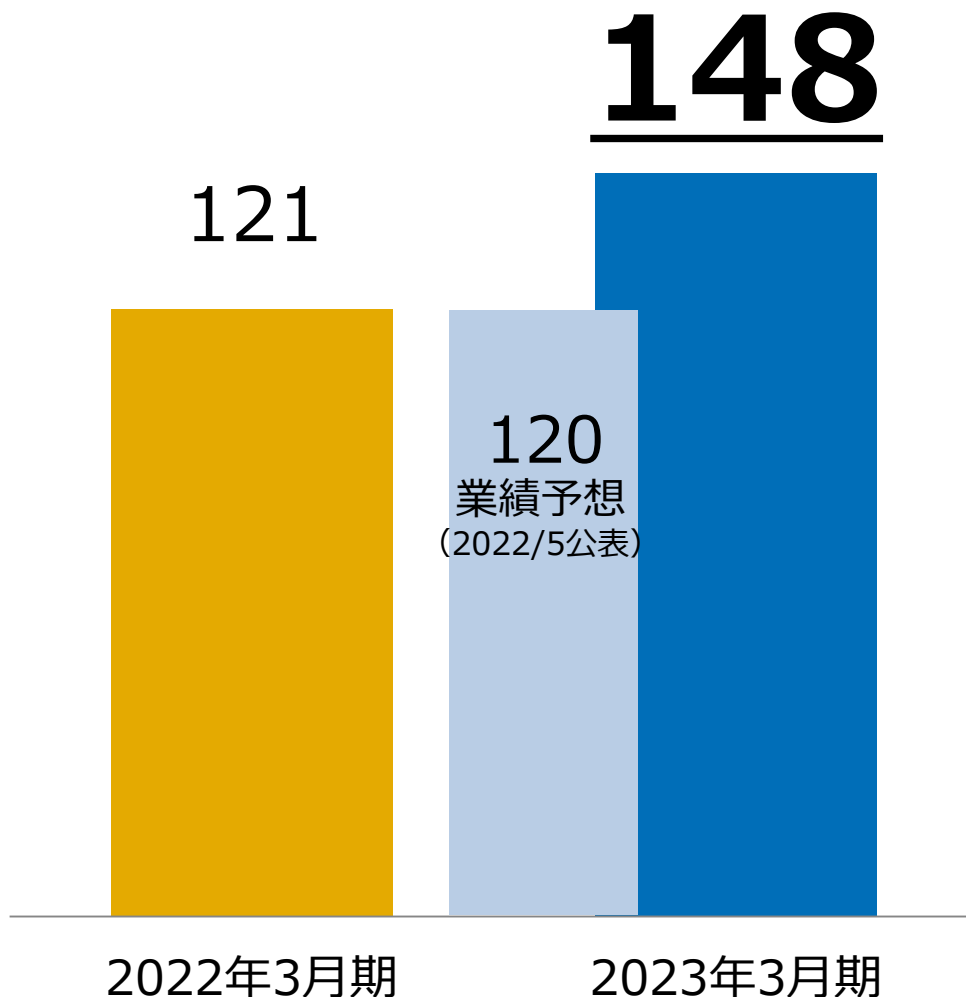
前年比

+26億円
(+17.3%)

業績予想比

+12億円
(+7.6%)

銀行単体 (億円)



前年比

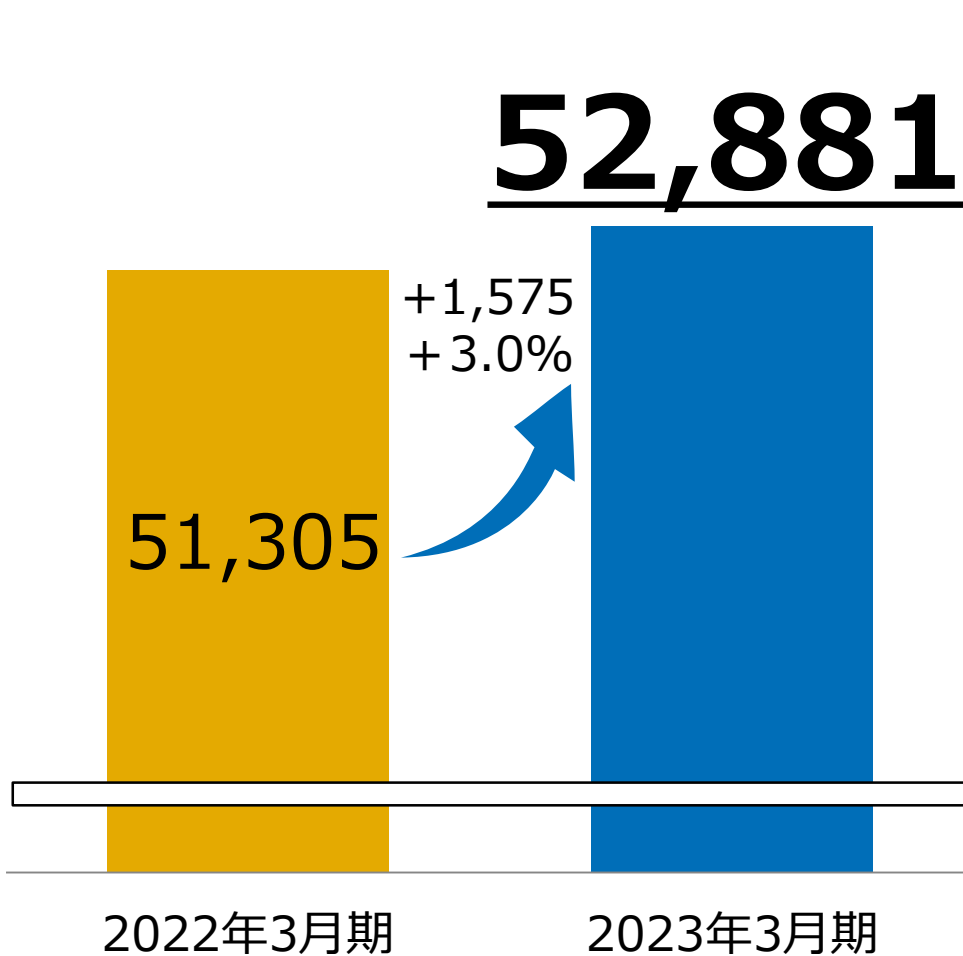
+27億円
(+22.2%)

業績予想比

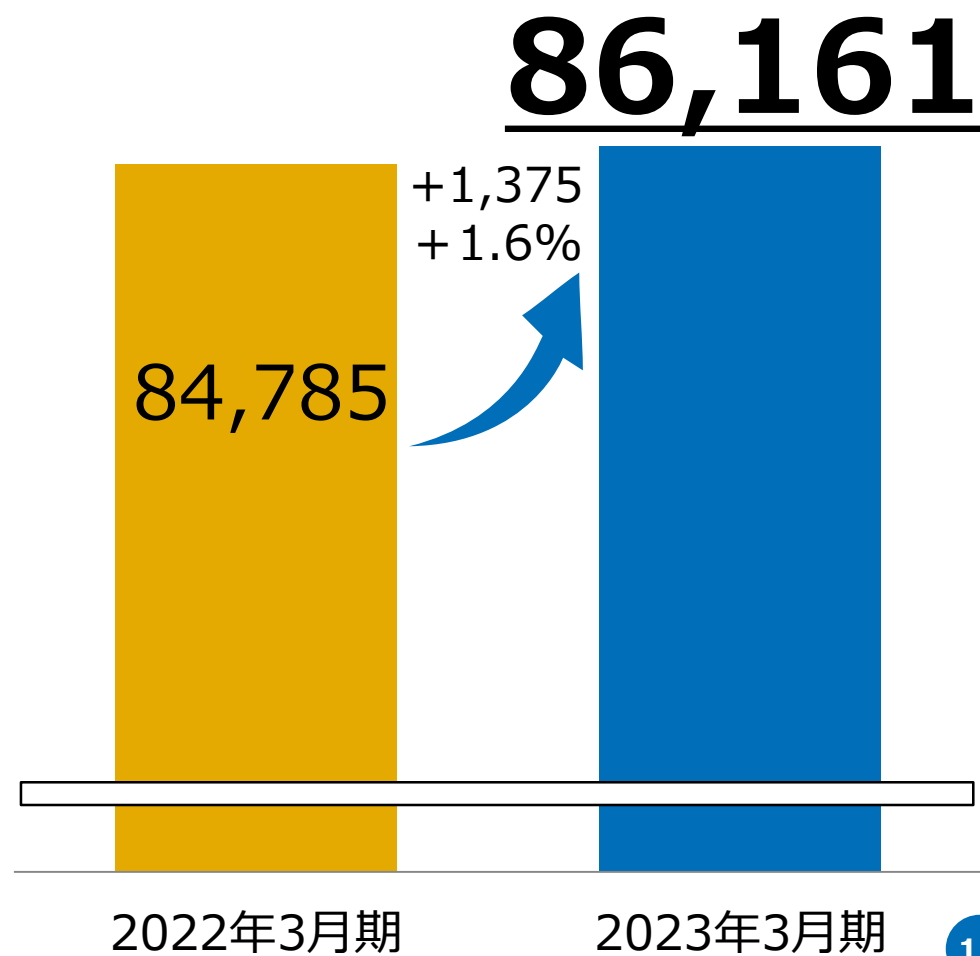
+28億円
(+23.7%)

銀行単体（億円）

貸出金



預金等



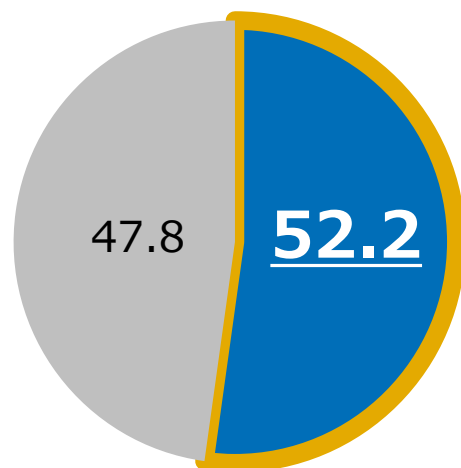
新潟県内における取引シェア

貸出金
(2023年3月)

(%)

■ 第四北越

■ 地方銀行・信用金庫・
信用組合 等

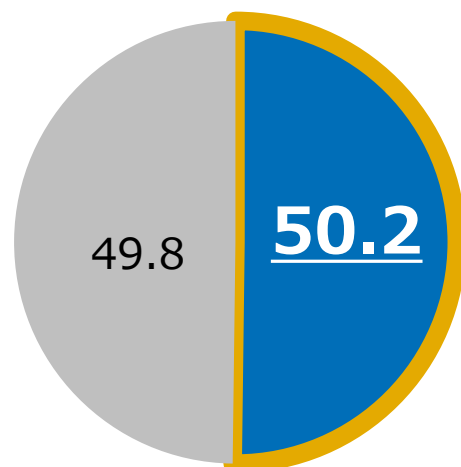


預金等
(2023年3月)

(%)

■ 第四北越

■ 地方銀行・信用金庫・
信用組合 等
(除く ゆうちょ銀行)



出典：ニッキン資料等から当社にて算出（2023年3月末）

全国企業のメインバンク動向調査

全国ではメガバンク等に次ぐ

第9位

地方銀行では
第5位

順位	金融機関	社数（社）	シェア
1	三菱UFJ	95,718	6.53%
2	三井住友	76,880	5.25%
3	みずほ	61,831	4.22%
4	りそな	30,753	2.10%
5	北洋	23,965	1.64%
6	福岡	22,096	1.51%
7	千葉	21,422	1.46%
8	西日本シティ	20,777	1.42%
9	第四北越	18,068	1.23%
10	埼玉りそな	17,593	1.20%

出典：帝国データバンク「全国企業メインバンク動向調査（2022年）」

グループ会社部門 (億円)

※ 持株会社・銀行を除くグループ会社の
親会社株主に帰属する当期純利益の合計

41



2022年3月期

28

2023年3月期

前年比

▲13億円
(▲31.5%)

証券事業

前年比▲12億円 (▲65.7%)

- － 不透明なマーケット環境を背景としたリスク回避姿勢の強まりなどにより前年を下回る

リース事業

前年比▲0.9億円 (▲25.6%)

- － 銀行紹介案件は増加するも大口取引先のランクダウンにより信用コストが増加し前年を下回る

FG連結 (%)

10.51

10.23

国際基準
8%

国内基準
4%

2022年3月期

2023年3月期

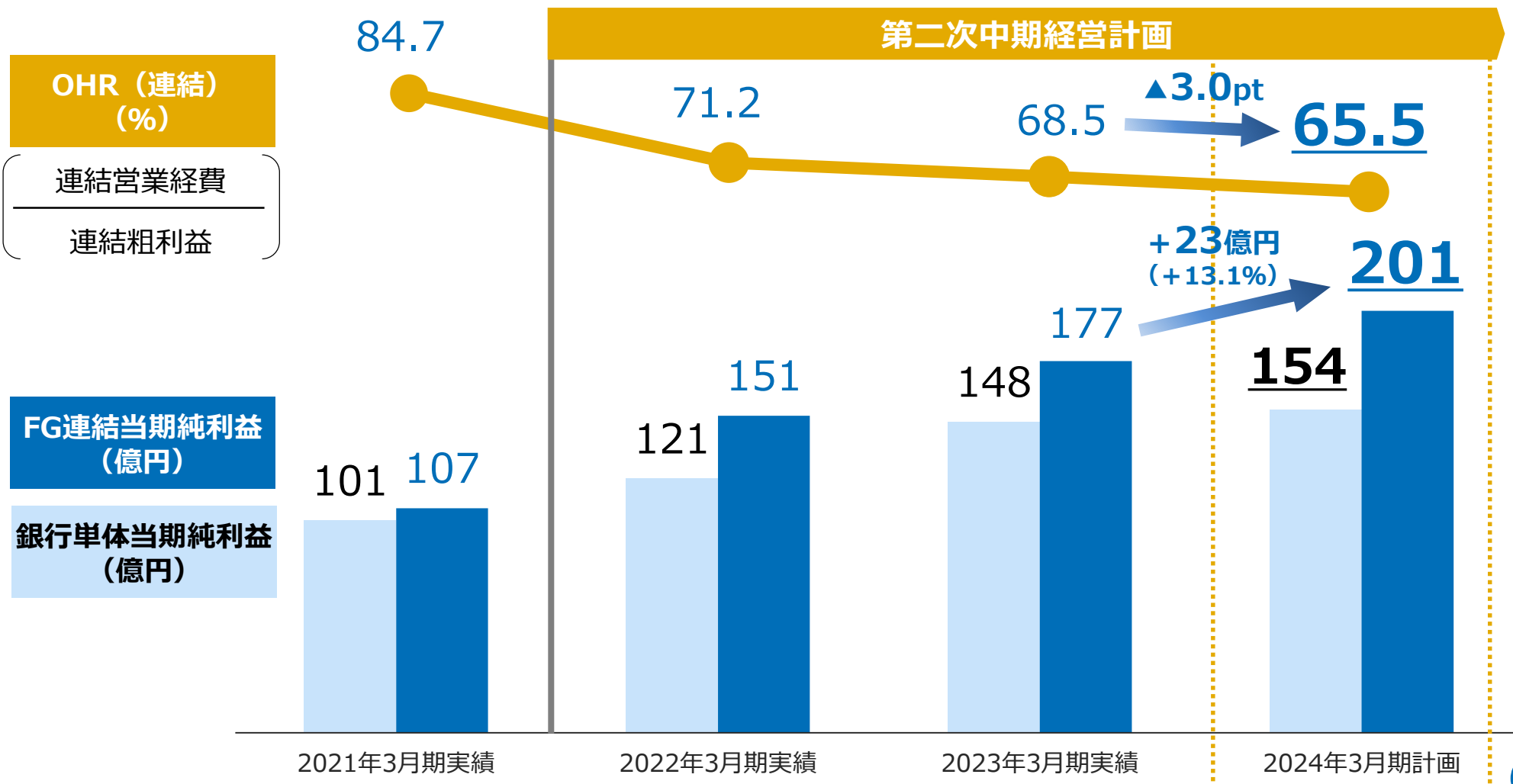
前年比

▲0.28pt

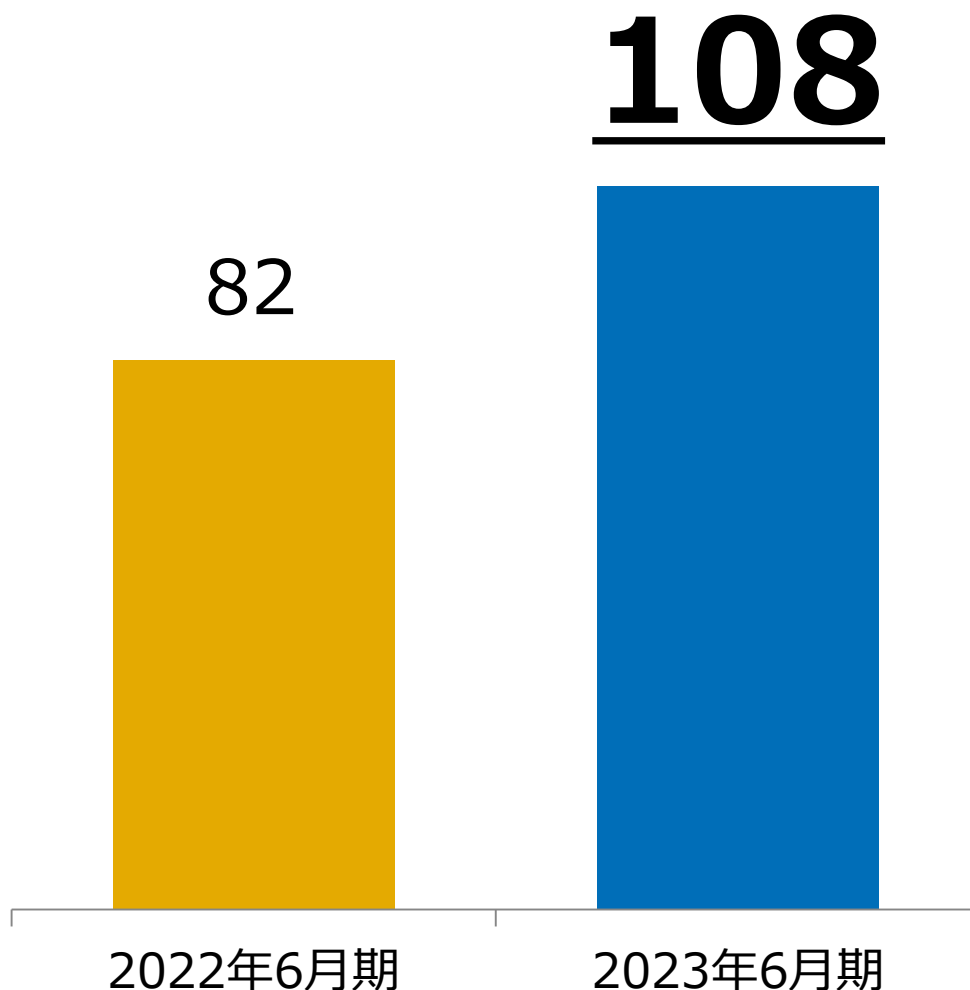
- － FG連結での自己資本比率は国内基準である4%、国際基準である8%を上回る十分な水準を確保

FG連結当期純利益は前年比+23億円増益の**201億円**

OHRは**65%台**への低下を見込む



FG連結四半期純利益 (億円)



前年同期比

+26億円
(+32.4%)

年間業績予想
に対する進捗率

54.1%



計画期間：2021/4～2024/3
第二次中期経営計画

3 大シナジーの発揮

3大シナジーの発揮 持続的な成長に向けた第四北越FGの取り組み

第一次中期経営計画
ーシナジー効果を最大発揮するための土台構築ー

第二次中期経営計画
ー合併の成果をあげる新たなステージへー

持続的な成長に向けて

1 経営統合

→ 第四銀行と北越銀行の
経営統合により誕生

2018年10月
全国に先駆けた同一県内の
シェアNo.1・No.2の
地銀による経営統合

2021年1月
銀行合併・
新銀行誕生・
システム事務統合



DAISHI HOKUETSU
Financial Group
第四北越フィナンシャルグループ



第四北越銀行
DAISHI HOKUETSU BANK

140有余年にわたり築き上げてきた
お客さまとの信頼関係



第四銀行



ホクギン

北越銀行

最重要テーマ シナジー効果の発揮

合併シナジーの最大化

ノウハウの共有
重複機能の整理
経営資源の再配分



グループシナジーの最大化

FGグループ会社機能の
最大限の活用



TSUBASA 連携シナジーの最大化

地銀最大規模の
スケールメリットの活用



第四北越FG 目指す姿

圧倒的に支持される
金融・情報
サービスグループ

金融・情報仲介機能の
発揮による
新たな価値の創造



経営の効率化

地域の発展への
持続的な貢献

グループ経営資源の再配分



人員創出・再配置

人員創出

店舗統合



営業店業務改革



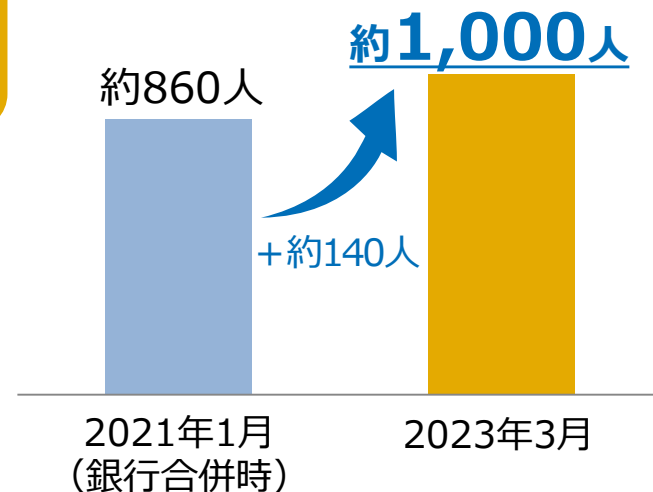
本部スリム化

再配置人員数（累計）

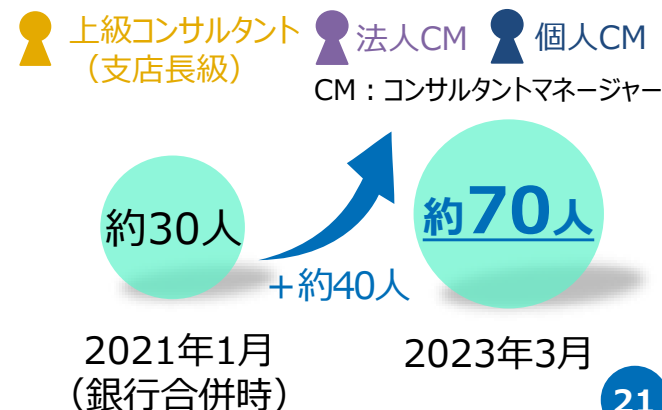
累計約**400**人の
人員再配置を実施済銀行部門
約**280**人グループ会社
部門
約**60**人お取引先企業への
出向・転籍
約**60**人

2023年3月期

第四北越銀行 営業担当者数

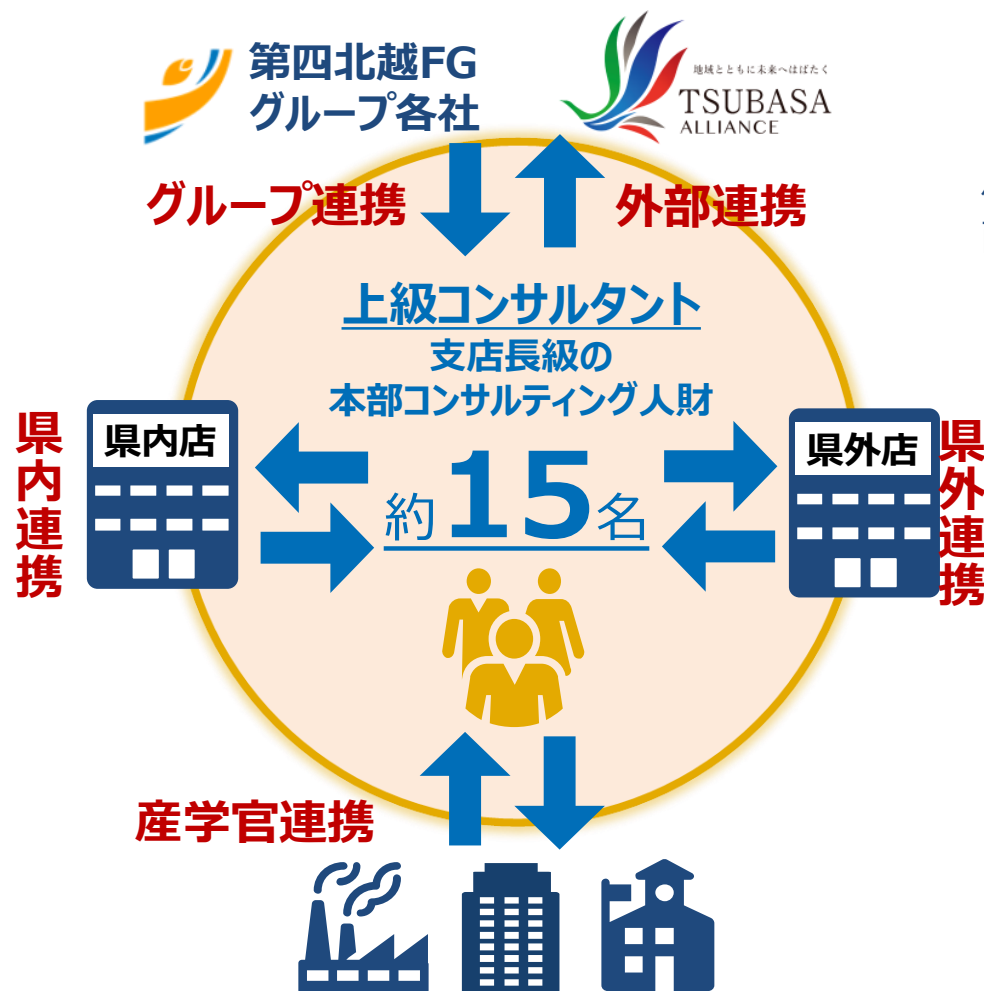


営業店に常駐する本部専門人員



連携強化によるコンサルティング機能の発揮

上級コンサルタントを中心とした連携による付加価値創造支援



地域創生に向けた各地域での連携施策

※本部担当者による連携施策を含む

佐渡地域
面的再生に向けた支援

補助金活用支援

人材活用支援

県内連携

上級コンサルタント
ビジネスマッチング

<2022年度> 燕三条地域
環境省ESG地域金融促進事業

(脱炭素化支援)

DX支援

脱炭素支援

情報連携

経営資源の
配分により
活動領域が拡大

県外連携

県外支店 13拠点

営業本部・東京オフィス

(東京支店建物内) 上級コンサルタント

コンサルティング機能の強化に向けた拠点の整備

営業拠点集約によるコンサルティング機能の強化

2023年7月

“長岡新営業拠点”誕生

New!



<米百俵プレイス西館へ移転・集約>

【新潟県長岡市】
グループ会社の
営業拠点の
移転・集約を実施

移転したグループ各社

-  **第四北越銀行**
➤ 長岡本店営業部 等
-  **第四北越証券**
➤ 本社・本店営業部 等
-  **第四北越リース**
➤ 長岡支店
-  **北越リース**
➤ 本社

➡ 営業拠点および営業人員を集約することで
グループ間連携によるコンサルティング機能を一層強化

2023年9月 新潟コンサルティングプラザ 移転・オープン

New!

“個人ローン・資産運用
ご相談の新拠点”誕生

新潟・出来島
コンサルティング
プラザが
移転・統合

資産運用
ご相談ブース
“マネープランラボ”
新設



➡ お客さまのライフイベントに応じた幅広いニーズへの
ご対応に向けて対面チャネルを一層強化

お客さまの企業価値向上・持続的な成長に向けたご支援

にいがた地域金融M&Aアライアンス

新潟県の後継者不在率： **53.5%**

出典：帝国データバンク「新潟県内企業『後継者不在率』動向調査（2022年）」

→ お客さまのM&A・事業承継のご支援に向けて
新潟県内金融機関との連携を強化

2022年8月 設立

にいがた地域金融
M&Aアライアンス<メンバー>
新潟県内に本店を置く金融機関

加盟金融機関

事務局

6社

(2023年8月時点) 第四北越銀行

譲渡希望企業

ニーズ
支援

譲受希望企業

ニーズ
支援

オブザーバー

新潟県事業承継・引継ぎ支援センター

事業承継・雇用創出に向けたご支援

投資専門子会社 2021年10月 設立



第四北越キャピタルパートナーズ

資本性資金の供給・伴走型の経営支援

事業承継

事業再生

地域活性化

創業支援

2021年12月

『第1号第四北越地域創生ファンド』の組成
(第1号第四北越地域創生投資事業有限責任組合)
ファンド総額10億円2023年4月 **New!**『第2号第四北越地域創生ファンド』の組成
(第2号第四北越地域創生投資事業有限責任組合)
ファンド総額**10億円**

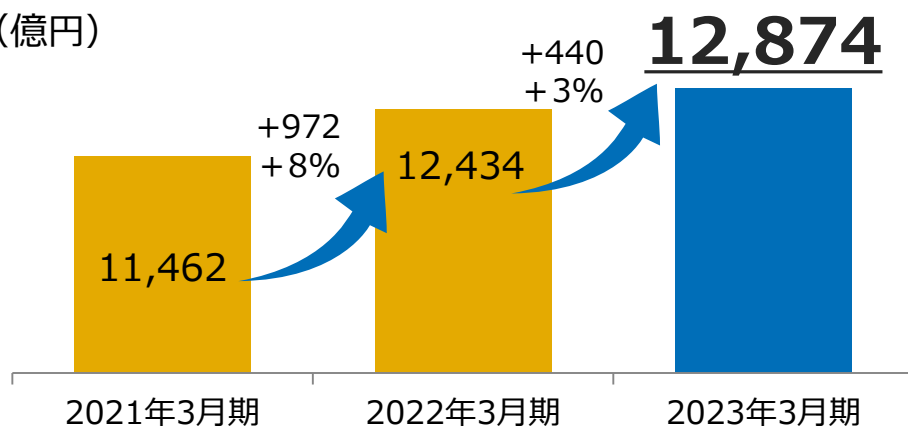
お客さまの最善の利益の実現に向けた資産運用・承継コンサルティング

高まる資産運用・承継ニーズへの対応

グループ預かり資産残高（末残）

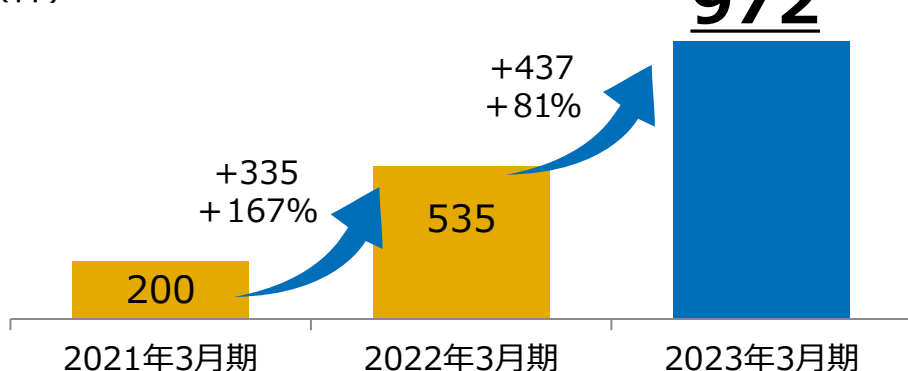
第四北越銀行・第四北越証券合算

(億円)



信託業務の取り扱い件数

(件) 遺言信託・遺産整理業務・遺言代用信託等



資産形成に向けた取り組み



第四北越銀行

“厳選NISAプラン”取り扱い開始（2023年7月）

New!

“成長投資型”は
2024年から始まる
新NISA制度に対応した
商品の中から
厳選した10銘柄をご提供

【「第四北越銀行厳選NISAプラン」の概要】

区分	成長投資型	つみたて投資型
対象のお客さま	個人のお客さま	
現行制度	現行の「一般NISA」 に対応	現行の「つみたてNISA」 に対応
対象ファンド	10ファンド	12ファンド
申込手数料	お申し込み金額3万円 以下の場合、 <u>無料</u>	現行と同様 (全て無料)



▲「成長投資型」の詳細



▲「つみたて投資型」の詳細

DXを通じたお客さまの利便性向上・コンサルティング機能の強化

事業者向けポータルサイト
「CONNECT-BIZ（コネクトビズ）」の取り扱い開始
(2023年4月)

New!

社内の情報共有を強化するための機能や
従業員へ福利厚生をご提供するサービス

— 主な機能 —

社内掲示板 グループメッセージ 安否確認 動画配信

個人向けWebサービス
「マイページ」の取り扱い開始
(2023年4月)

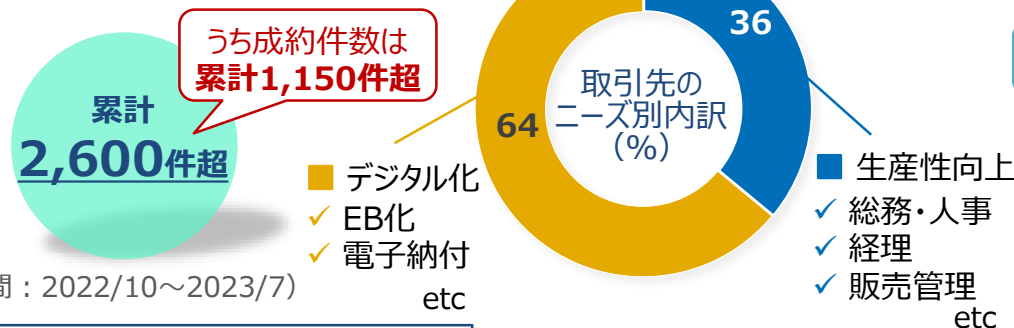
New!

お客さまごとの専用Webページを構築
住宅ローン正式申し込みのWeb受付が可能24時間
Web受付Webで
書類提出担当者との
やり取り
可能

地域経済の「生産性向上」に向けてDX支援の取り組みを加速

お客さまのDXを推進する「DX全店運動」の実施

<取引先のニーズ把握件数>



取り組み事例

(お客さまから頂いたご相談の一例)

お客さま



課題

- ✓ 顧客管理システム導入後**10年が経過**
- ✓ システム**エラーが多発**し、保守メンテナンスに**多額の費用**

サブスク型クラウドシステムの導入

- 定額制の**クラウド型システム**に移行
- 販売管理システムや社内コミュニケーションツールなどの**システム機能を拡充**
- **業務の一元管理等、業務効率化と社内コミュニケーションの活性化を実現**

第四北越FGグループ
連携でのご提案DH-ITS
第四北越ITソリューションズ

ブリッジにいがた

地域全体のDX推進に向けた取り組み

<新潟県DX推進プラットフォーム>

代表機関

構成員

地域商社

連携

ブリッジにいがた

第四北越FGグループ
各社

New!

経済産業省（令和4年度補正）
「**地域DX促進環境整備事業**」採択
(サイバーセキュリティ対策拡充型) (2023年4月)

- サイバーセキュリティに対する脆弱性診断
- サイバーセキュリティ訓練の改善に向けた助言 etc

New!

新潟県（令和5年度）
「**DX推進意識改革支援業務**」受託
(2023年7月)

- 金融機関・商工団体職員向けセミナー・研修 etc



第四北越
フィナンシャルグループ

経済産業省



DX認定

県内金融機関で初

の認定取得
(2022/11)

DX認定制度

- 「情報処理の促進に関する法律」に基づき、DX推進にかかる経営ビジョンの策定や体制の整備など認定基準を満たす対応を行い、DXの実現に向けた準備が整っている事業者を経済産業省が認定する制度



第四北越銀行

経済産業省

スマートSMEサポーター

(情報処理支援機関)

県内金融機関で初

の認定取得
(2023/9)

New!



スマートSMEサポーター



Smart
SME
Supporter

- スマートSMEサポーター（情報処理支援機関）とは、中小企業の生産性向上を目的に、ITの利活用に関するアドバイスや情報提供などを行う事業者を支援機関として経済産業省が認定する制度

重複機能の整理・人員数最適化により経営体質を強化

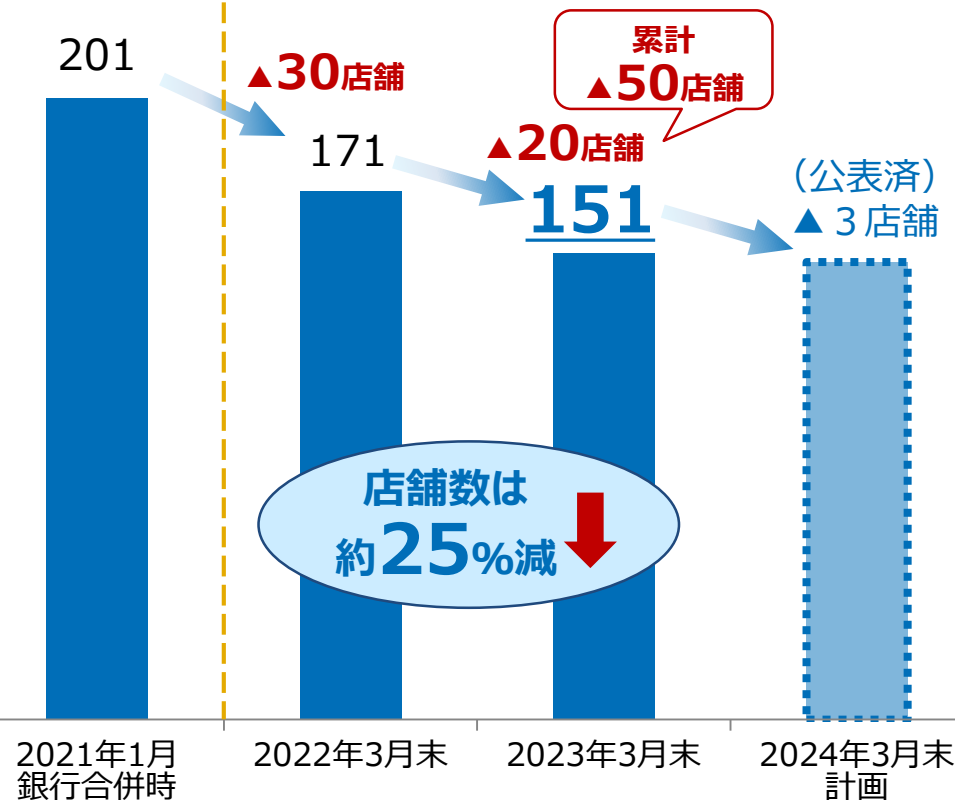
店舗統合 -店舗数の推移-

銀行部門

※ 実店舗数（店舗内店舗・インターネット支店等を除く）

(店舗)

第二次中期経営計画



人員数最適化 -人員数の推移（概数）-

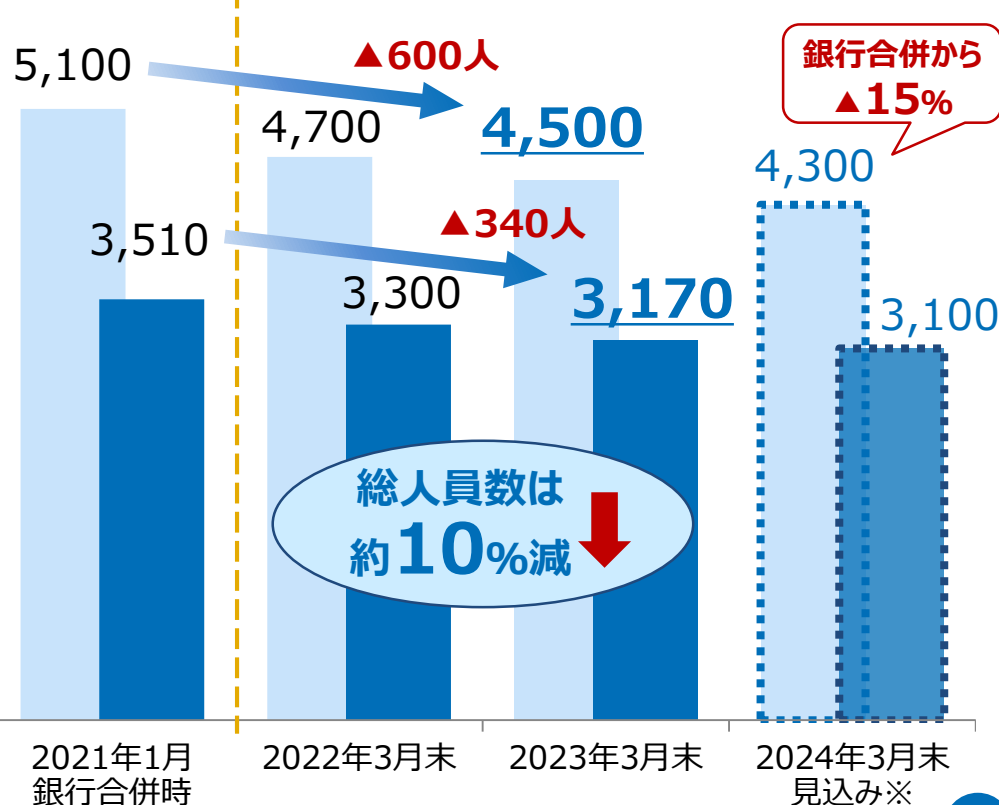
銀行部門

■ 総人員（スタッフ等含む）

■ 行員

(人)

第二次中期経営計画



※ 2023/10（予定）の第四コンピューターサービスの第四北越銀行への統合による影響を除く



グループ再編・事業領域拡大に向けた取り組み

2018年10月（FG設立時）

2023年4月～

第四北越FG

第四銀行

子会社

北越銀行

子会社

New!

FG設立以降
事業再編・領域拡大を実施
（2023年4月）

銀行子会社を含む連結子会社

15社体制

<事業分野>

金融分野

非金融分野

New!

他業銀行業高度化等会社
認可取得（2023年3月）

第四北越FG

銀行

第四北越銀行

証券

第四北越証券

リース

第四北越リース

ファンド運営

第四北越キャピタルパートナーズ

カード3社

第四JCBカード/第四DCカード/北越カード

人材紹介

第四北越キャリアブリッジ

コンサルティング・調査

第四北越リサーチ&コンサルティング

システム

第四コンピューターサービス

システム

第四北越ITソリューションズ

地域商社

ブリッジにいがた

子会社

リース

北越リース

信用保証

第四信用保証
北越信用保証2022年10月
FG100%子会社化2022年10月
FG100%子会社化2023年4月（株）エヌ・シー・エスの
FG100%子会社化 + 商号変更2023年4月
FG連結子会社化

New!

New!

DX推進に向けてグループ体制を強化

県内企業・自治体におけるDX推進の支援

- ニーズ把握から課題の洗い出し、IT導入までを
グループ内で完結できる体制の構築
- 新潟県内の取引先企業や自治体における
生産性向上を積極的にご支援



旧商号 : (株)エヌ・シー・エス
 本社所在地 : 新潟県新潟市中央区
 事業内容 : コンピューター関連業務
 設立 : 1970年3月
 従業員数 : 約230人
 売上高 : 31億円 (2023年3月期)

- 県内外で幅広い業種の企業と取引あり
- **地域企業や地域行政のシステム開発に強み**

グループに
新たに参画DXの重要性の
一層の高まり

IT技術の急速な進展

人口減少・少子高齢化

新型コロナウイルス影響による
環境変化への対応

地域商社

ブリッジにいがた

- 生産性向上に向けた
コンサルティングに強み

<事業内容>

販路開拓事業

観光振興事業

生産性向上事業

☞ 地域商社の取り組みはP34

RPA導入支援や
自治体連携等に
引き続き注力

当社グループにおける金融DXの推進

- 第四コンピューターサービスを**銀行のシステム部門**
などへ統合（継承）（2023年10月予定）
- IT人財を増強しシステム内製力を更に強化
- デジタル技術を活用した商品・サービスの提供、
業務プロセスの改善を継続

システム



本社所在地 : 新潟県新潟市中央区
 事業内容 : コンピューター関連業務
 設立 : 1976年5月
 従業員数 : 約80人
 売上高 : 10億円 (2023年3月期)

- 銀行のシステム開発を中心に地域企業からのシステム事務も受託
- **銀行のシステム開発に強み**

Next!

(2023年10月予定)

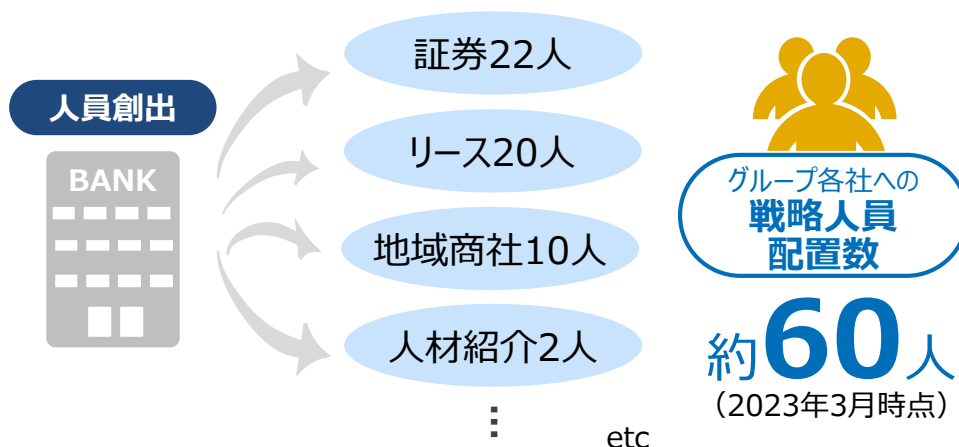
第四北越銀行へ統合（承継）

DX支援・DX活用に
引き続き注力IT人財
増強内製力
強化

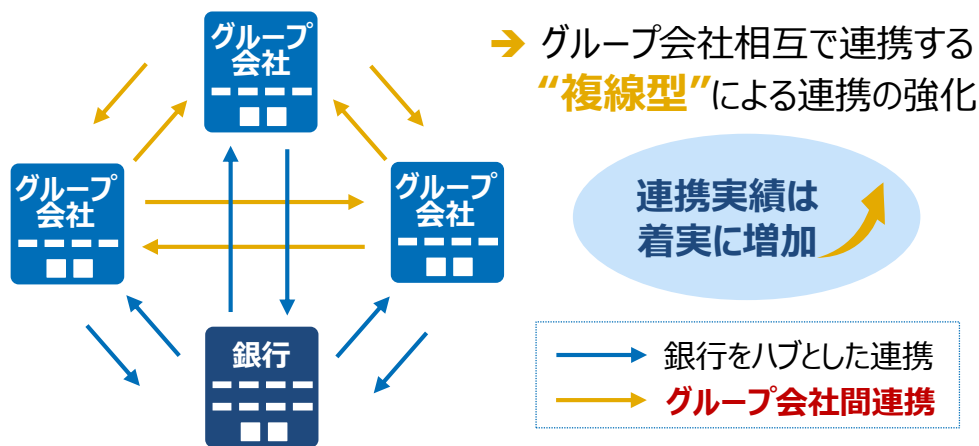
etc

コンサルティング機能発揮に向けた連携強化

戦略人員の配置



“複線型”連携の強化



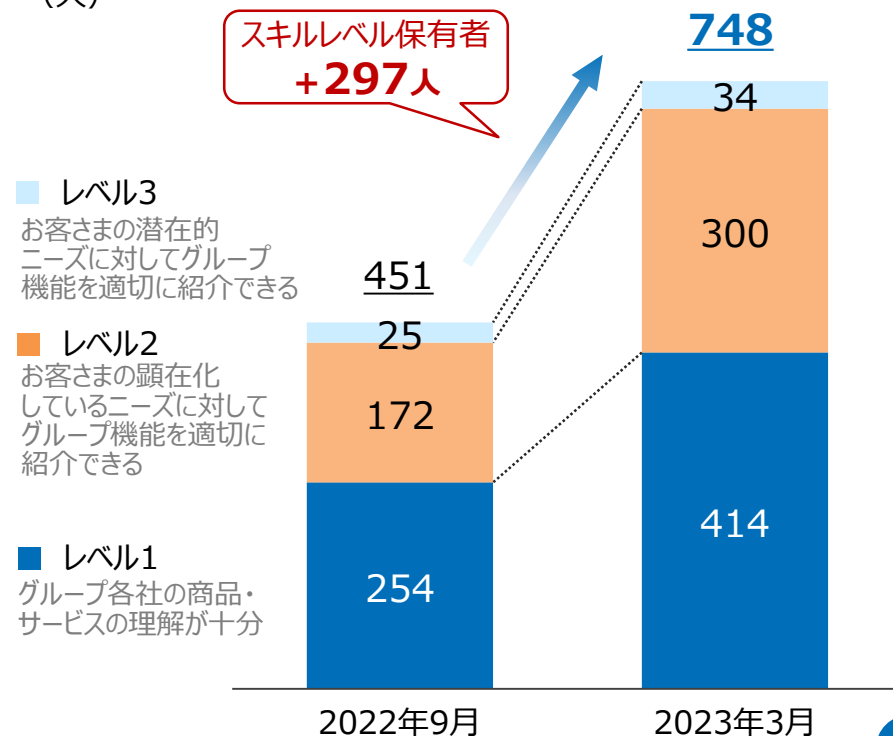
グループ連携強化に向けた人財育成

グループ連携人財の育成

→ グループ機能をフル活用し複合的提案を行える
人財の育成・強化 (2022年度より開始)

法人営業担当者 スキルレベル保有者数の推移

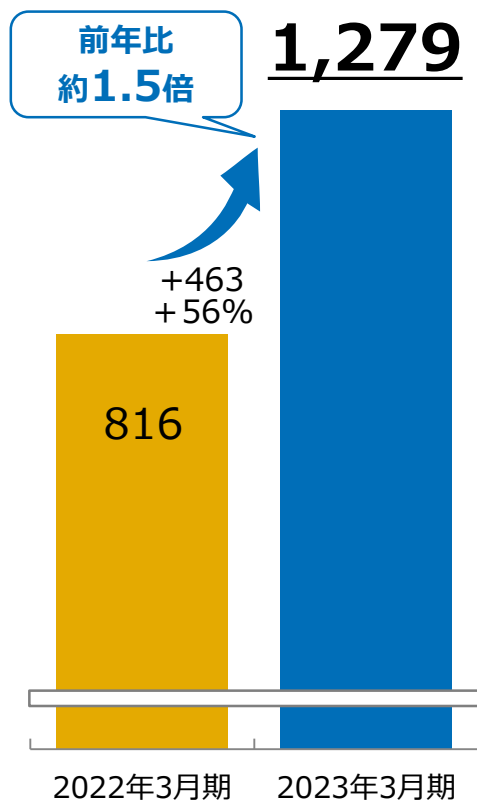
(人)



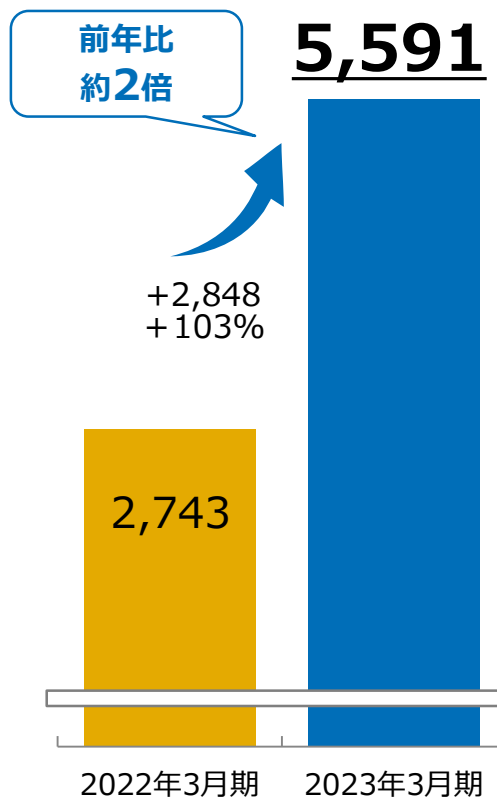
グループシナジー発揮に向けた取り組み

第四北越リースへの
紹介件数

(件)

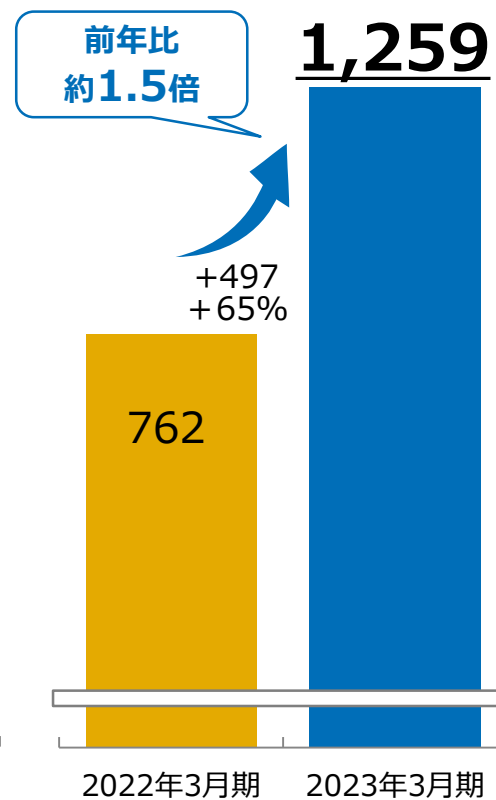
第四北越証券
積立投信契約先数

(先)

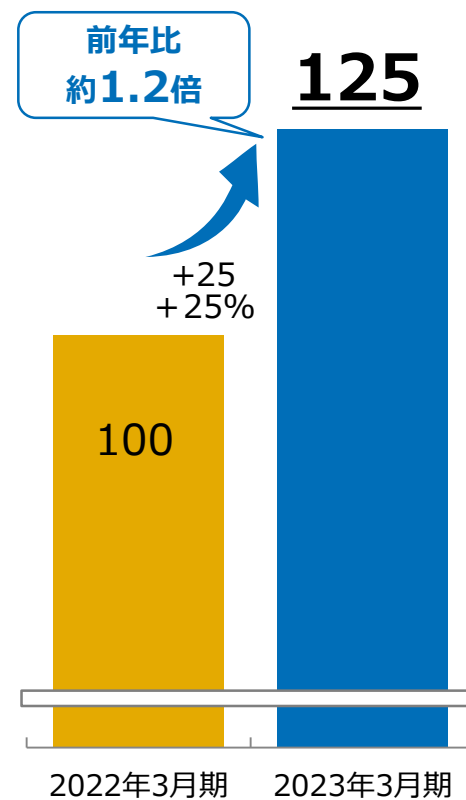
カード事業
加盟店獲得先数

(先)

※2021年度～累計

コンサル事業
第四北越リサーチ&コンサルティングにおける
コンサルティングフィー

(百万円)



地域商社

ブリッジにいがた

(2019年：設立)

販路開拓事業

アンテナショップ
ブリッジにいがた自社ECサイト
オンラインショッピング➔ 商品ご提供企業数累計**560社**（前年比**+63社**）➔ アンテナショップの売上高は **過去最高を更新**

(2023年3月期)

● **New!** 新潟県（令和5年度）「**ベトナム向け県産品の****販路開拓支援業務**」受託（2023年6月）

— 販路開拓セミナー開催、展示会、マッチング等

新潟県産品の
海外販路拡大
を支援

観光振興事業

- 多言語翻訳ツールの提供
- 各種団体に対する観光振興策の提案・共同実施 等

生産性向上事業



詳細はP31

(生産性向上・DX支援に記載)

人材紹介

第四北越キャリアブリッジ

(2019年：設立)

人材マッチング事業

- 人材紹介業務
- 人材マッチングサポート
- 兼業・副業人材マッチングサポート

相談件数
累計**1,556**件決定件数
累計**390**件(期間：2019年10月～
2023年7月)兼業・副業人材の活用例
(お客さまから頂いたご相談の一例)商品数が多く在庫管理が煩雑
在庫管理に課題あり経理業務の専担者が不在
経理業務に課題あり首都圏在住・
IT業務のプロ関西圏在住・
経理部長経験者マッチングした
兼業・副業人材

人材育成ソリューション事業

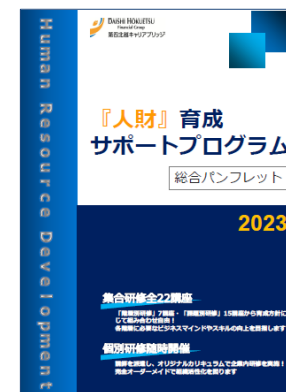
- 県内企業の人材育成に向けたセミナーをFGグループ企業と共催で開催

人財育成
サポートプログラム
参加者総数**1,400人超**

2023年3月期

企業毎の課題に
合わせた個別研修会
開催数**50回超**

2023年3月期



地方銀行広域連携の枠組み

TSUBASAアライアンス



地域とともに未来へはばたく

TSUBASA
ALLIANCE

参加行数

10行

(2023年6月末時点)

参加行の
総資産残高合計

約95兆円

(2023年6月期連結ベース)

アライアンス発足・参加から
7年半で

100億円突破

第四北越銀行
連携施策によるシナジー効果
2015年10月～2023年3月まで

累計106億円

第四北越銀行

滋賀銀行

中国銀行

琉球銀行

伊予銀行

北洋銀行

東邦銀行

群馬銀行

千葉銀行

武蔵野銀行

■ 本店所在地
■ 店舗所在地

地方銀行**最大**の広域アライアンスによる
規模のメリットと**情報連携の優位性**の活用

ビジネス
マッチング

M & A

情報提供

等

「地域への貢献」と「企業価値向上」に向けた連携施策

群馬・第四北越アライアンス



GUNMA
DAISHI HOKUETSU
ALLIANCE

群馬・第四北越 アライアンス



第四北越銀行



GB

群馬銀行

＜店舗の共同利用＞

第四北越銀行店舗の群馬銀行店舗内への移転

(2023年3月)

＜共同企画＞

SDGs私募債「グリーン&フードサポート私募債2」

(2023年7月～2024年3月)

第四北越銀行

＜第四北越銀行高崎支店＞



→ ATM提携の開始 (2023年1月～)

両行間の平日（日中）のATM利用手数料を無料化

私募債発行企業様を
資金面でサポート



発行企業様よりいただく
手数料の一部を活用して
新潟県・群馬県へ
食品や金銭の寄付を実施





計画期間：2021/4～2024/3
第二次中期経営計画

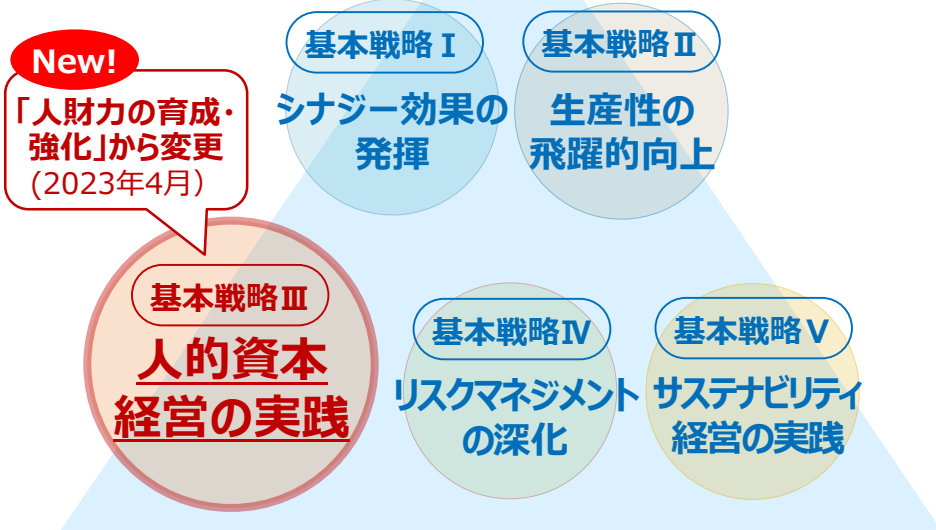
人的資本価値の向上

人的資本価値の向上に向けて体制をさらに強化

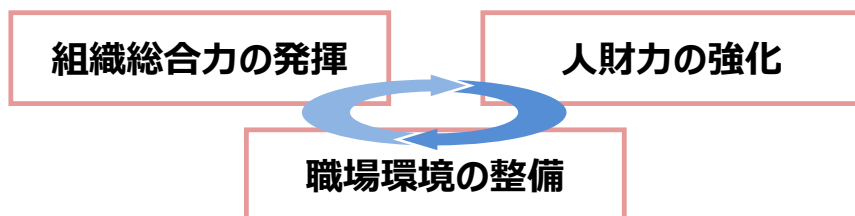
第二次中期経営計画 基本戦略の変更

第四北越FG 経営理念

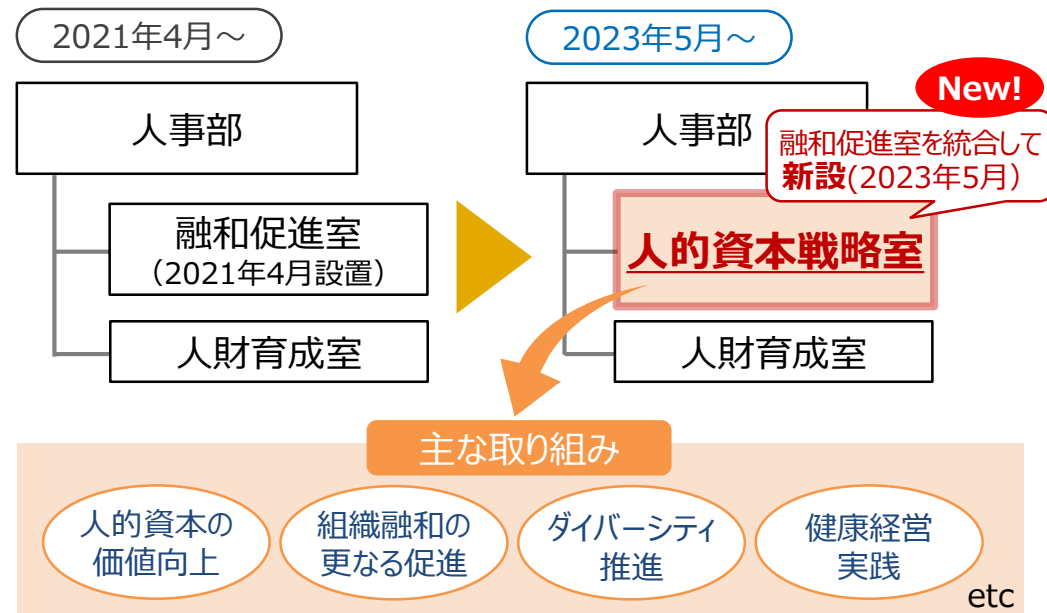
第二次中期経営計画 5つの柱



➔ 人的資本価値の向上に向けて強化する取り組み



人的資本戦略室の新設



E-Ship® (信託型従業員持株インセンティブ・プラン) 導入

➔ 従業員持株会の会員対象を
銀行からFGグループ全社へ拡大

<導入目的>

ファイナンシャル・
ウェルネスの
取り組み強化

中長期的な
企業価値向上の
インセンティブ付与

福利厚生
の増進

etc

New!
2023年5月
導入決定

意識・ベクトルの統一により組織融和は着実に進展

経営陣と職員との対話交流会

中期経営計画説明会

約**4,700**人が参加



▲FG社長による説明会

役員との対話交流会

のべ約**500**会場
約**12,500**人が参加



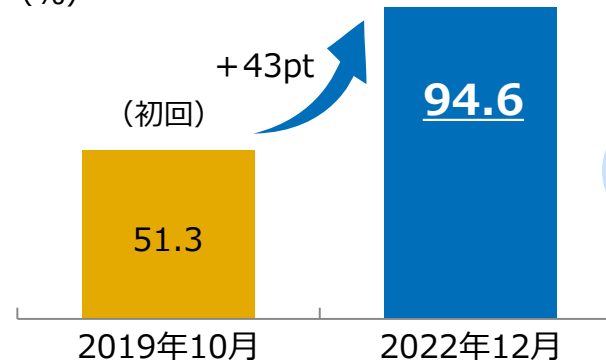
▲役員による対話交流会

上下期毎に
各職場で開催

従業員向けアンケートの実施

従業員意識調査結果

「銀行全体の融和が進んでいる」の回答割合
(%)



組織融和は
着実に進展

頭取による管理職向け説明会 “一志交流会”

のべ**14**回
約**900**人が参加



▲一志交流会

頭取による若手職員向け説明会 “一志交流会 Next”

のべ**2**回
約**60**人が参加



▲一志交流会 Next

経営理念の
実現に向けて

第二次中期経営計画
グループ全役職員の合言葉

→ 全役職員が経営理念を
実現しようとする強い気持ち
である「志」をつにして、
地域への永続的な貢献に
取り組むことを示しています。

志を一つにして
一志結

職員の能力の最大発揮に向けた職場環境づくりを積極的に推進

「健康経営優良法人2023」
認定取得 (2023年3月)

第四北越FG
第四北越銀行

New! 「プラチナくるみんプラス認定」取得
(2023年5月)

第四北越銀行



第四北越銀行
6年連続の認定取得

6年連続は新潟県内企業で
当行のみ



子育てサポート
不妊治療と仕事の両立

新潟県内企業で
初取得

全国の認定企業数
26社
(2023年7月時点)

「スポーツエールカンパニー2023」
認定取得 (2023年2月)

第四北越銀行

New! 「プラチナえるぼし認定」取得
(2023年5月)

第四北越銀行



職員への
運動機会の提供

職員への
健康意識向上支援



女性の活躍促進
最上位認定

新潟県内企業で
初取得

全国の認定企業数
41社
(2023年7月時点)



計画期間：2021/4～2024/3
第二次中期経営計画

サステナビリティへの取り組み

- サステナビリティ基本方針に基づき、4つの重要課題に積極的かつ主体的に取り組み、持続可能な社会の実現に貢献する

『第四北越フィナンシャルグループ サステナビリティ基本方針』

4つの重要課題

1 地域課題への
取り組み

2 環境問題への
取り組み

3 社会との
信頼関係の確立

4 人財育成と
職場環境の整備

グループ総合力を活かした
金融・情報仲介機能の最大発揮

地域・お客さまの
課題解決支援

自社の取り組みを通じて得た
ノウハウ・知見を地域へ還元し
地域全体での取り組みをさらに推進

グループ一体となった
積極的かつ主体的な取り組み

FG自社による
CO2削減などの
サステナビリティへの
取り組み

サステナビリティ経営の実践

事業基盤である
環境・社会の維持・向上

経済成長・企業活動の
持続的な成長

第二次中期経営計画

取り組み方針・体制面の強化に向けた主な取り組み

上期

- 「TCFD提言」への賛同表明
- 「サステナビリティ推進委員会」「サステナビリティ推進室」設置
- 環境省「令和3年度ESG地域金融促進事業」の取り組み

下期

- 「サステナビリティ基本方針」制定
- 環境省「TCFD提言に沿った気候リスク・機会のシナリオ分析パイロットプログラム支援事業」の取り組み

上期

- 中期経営計画の基本戦略に「サステナビリティ経営の実践」を追加
- 「環境・社会に配慮した投融資方針」制定
- 「サステナブルファイナンス目標」「CO2排出量削減目標」設定
- 「一般社団法人SDGsにいがた」理事に頭取が就任
- 「パートナーシップ構築宣言」公表
- 環境省「令和4年度ESG地域金融促進事業」の取り組み

下期

- 「2050年カーボンニュートラル宣言」公表

2021
年度

2022
年度

2023
年度

CO2排出量削減に向けた取り組みを加速

第四北越FGのCO2排出量削減目標 (2022年5月)

2030年度
目標

2013年度比
スコープ1・2※1
▲65%減

※1 温室効果ガス排出量を算定・報告する際の国際的な基準（GHGプロトコル）における区分として「スコープ」が設けられています。「スコープ1」は自社での燃料の使用などによる直接的な排出のことであり、「スコープ2」は他社から供給されたエネルギーの使用による間接的な排出のことです。

第四北越FG「2050年カーボンニュートラル宣言」 (2023年3月)

New!

2050年度
目標

→ 脱炭素社会の実現に向けて
**2050年度までに
カーボンニュートラル※2の実現
を宣言**

※2 CO2の「排出量」から、植林や森林管理などによる「吸収量」を差し引いて、合計を実質ゼロにすることです。

主な取り組み

2023年3月期
新築3店舗

環境配慮型店舗の新設

『ZEB』認証取得
(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)

新潟県内初!

「Nearly ZEB」
認証取得



▲ 関屋支店 (2022/9)



▲ 白根支店 (2022/11)

環境負荷低減



バリアフリー設計

「Nearly ZEB」
認証取得



▲ 加茂支店 (2023/1)

カーボンニュートラル都市ガスの導入 (2022年9月～)

→ 新潟県内2拠点で導入

New! 再生可能エネルギー由来 CO2フリー電力の導入 (2023年4月)

→ グループ会社を含む11拠点で導入

電気自動車の追加導入 (2023年3月～)

→ グループ全社で6台を追加導入

FGの知見・ノウハウの蓄積に向けた連携強化

GXリーグへの参画 (2023年5月)

New!

- カーボンニュートラルの実現に向けた経済社会システム全体の変革を目指す「GXリーグ※」へ参画

※ 経済産業省のGX（グリーントランスフォーメーション）基本構想に基づき設立され、GXに積極的に取り組む企業群が、官・学・金でGXに向けた挑戦を行うプレイヤーと共に、経済社会システム全体の変革のための議論と新たな市場の創造のための実践を行う場



環境省 「令和5年度金融機関向けTCFD開示に基づく エンゲージメント実践プログラム」への採択 (2023年7月)

New!

- プログラムへの参加を通じて得た知見・ノウハウをお客さまに還元し**地域の脱炭素化を実現**

プログラム内容

エンゲージメント
戦略の策定

エンゲージメント先
事業者への
提案書の作成

エンゲージメントの
実施

地域社会との連携強化

三条地区包括連携協定の締結 (2023年6月)

New!

- 産学官金が連携し相互の強みを掛け合わせ持続可能な地域社会の実現を目指す取り組み



協定事項

- ✓ 地域経済の活性化
- ✓ 持続的発展に資するイノベティブな人材育成
- ✓ デジタルテクノロジーおよびグリーンテクノロジーの活用
- ✓ 継続的に新規事業が創出されるプラットフォームの構築



▲連携協定締結式の様子

サステナビリティ・SDGsの取り組み促進に向けた商品ラインアップの拡充

第四北越SDGsコンサルティングサービス

全ての企業向け

第四北越 SDGsコンサルティングサービス (2021年9月～)

SDGsの取り組み
状況診断 (無料)

SDGs宣言
策定支援 (有料)



無料診断サービス取扱件数

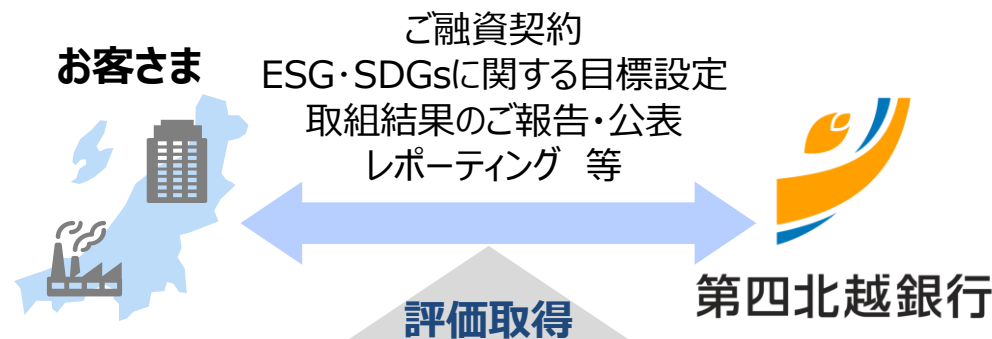
累計 **2,285件**

有料サービス取扱件数

累計 **202件**

(期間：2021年9月～2023年7月)

サステナブルファイナンス



外部機関
による評価

(2021年8月～)
「サステナビリティ・リンク・ファイナンス」
「サステナビリティ・ファイナンス」

第四北越
リサーチ&コンサルティング
による評価

(2023年3月～)
「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」
「SDGsグリーン・ファイナンス」
(2022年6月～)
「SDGsリンク・ファイナンス」

中小企業向け

(2022年3月～)

「SDGsサポートローン」

外部評価
取得不要

融資金額
1億円以内

SDGsの取り組み
意識の醸成・促進

サステナビリティ・SDGsの取り組み促進に向けた商品ラインアップの拡充

環境省ESGリース促進事業の取扱い



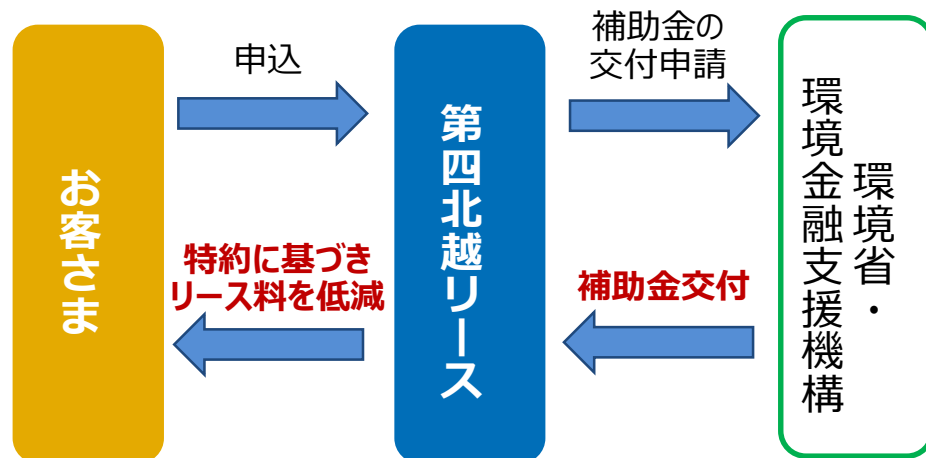
環境省
「令和5年度ESGリース促進事業」
指定リース事業者に採択
(2023年6月)

New!

第四北越リース

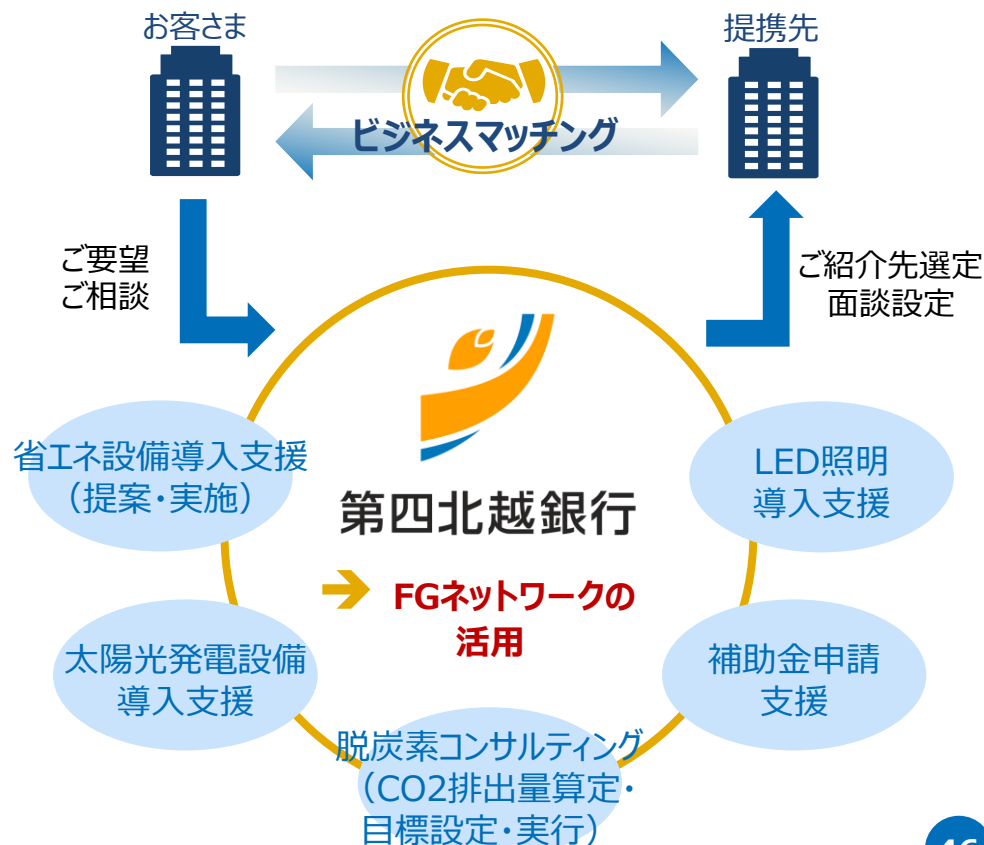
新潟県内に本社を置く
リース会社では当社のみ!

→ 同社を通じて基準を満たす脱炭素機器を導入いただく
ことで、お客さまはリース料の低減を図ることが可能



脱炭素化支援に向けたビジネスマッチング

地域の脱炭素化に向けた取り組みのご支援
ビジネスマッチング業務を強化



地域への貢献につながる商品・サービスの提供

寄付型私募債を通じた地域への還元 (2013年9月～)

発行企業様よりいただく手数料の
一部を県市町村・教育機関などへ
寄付する寄付型私募債

 第四北越銀行
国内金融機関初
取り扱いを開始

寄付金累計額
のべ **923** 団体
約 **1億8,000** 万円

(期間：2013年9月～2023年3月)

寄付型投資信託を通じた地域への還元 (2019年5月～)

新潟県の未来を応援する寄付型投資信託
「にいがた未来応援日本株ファンド」では
お客様よりご負担いただいた
運用管理費用（信託報酬）の
一部を県や福祉団体へ寄付を実施
( 第四北越証券 で実施)

寄付金累計額
約 **4,500** 万円

(期間：2019年5月～2023年3月)

地域社会の発展・支援に向けた取り組み

こども食堂の設立支援 – 寄付型私募債の取組事例 –

- ✓ 地域の「子育て環境の改善」のため、地元の有志や当行が中心となって「こども食堂」を新たに設立
- ✓ 本活動に賛同した企業さまが寄付型私募債を発行
- ✓ 「こども食堂」の活動資金として手数料の一部を寄付



次世代の人材育成に向けた
創立75周年を迎える
国立大学法人新潟大学
への寄付
(2023年2月)



▲ 贈呈式の様子

深刻な渇水被害の
支援に向けた
新潟県への寄付
(2023年9月)

New!



▲ 贈呈式の様子

地域への貢献に向けた地域社会とのコミュニケーション

「第四北越奨学会」による奨学金給付

(1962年～)



第四北越銀行

公益財団法人
「第四北越奨学会」

- 学業優秀でありながら経済的理由により大学への就学が困難な若者に対して返済義務のない奨学金を支給



▲学生懇談会の様子



● 奨学金支給者数

(累計)

1,248人

(期間：1963年3月期～
2023年3月期)

「第四北越まごころの会」によるボランティア活動

(1993年～)



第四北越銀行

役職員の自主参加募金組織
「第四北越まごころの会」

- 新潟県内の自然保護ボランティア活動への参加や環境保護・社会福祉団体への寄付活動を実施

● 新潟県「棚田みらい応援団」 草取りボランティアへの参加



● 新潟県「トキ保護ボランティア」 への参加



● トキの野生復帰に向けた支援

- トキの野生復帰に向けて1968年から佐渡トキ保護センターに物品を寄贈



▲贈呈式の様子



資本政策・株主優待

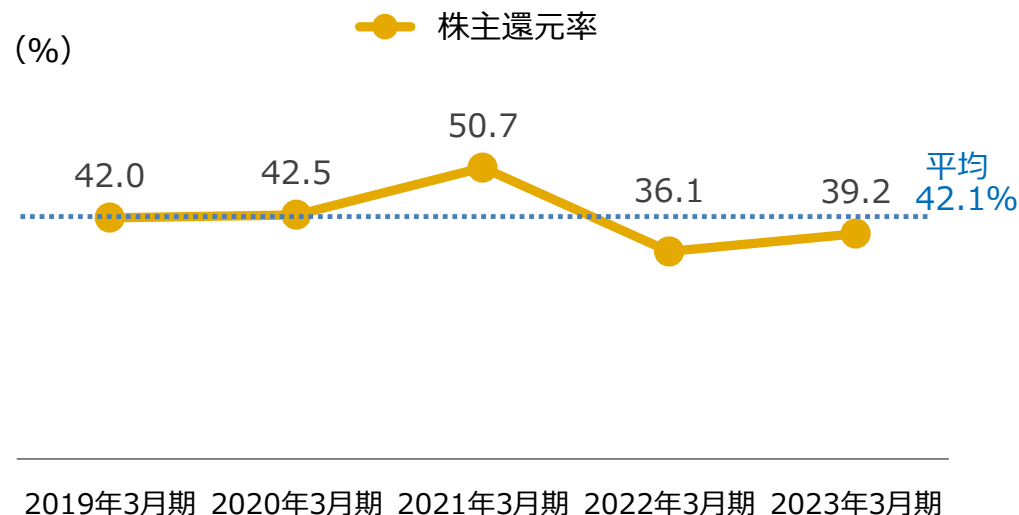
株主還元方針

金融グループの公共性に鑑み、将来にわたって株主各位に報いていくために、
収益基盤の強化に向けた内部留保の充実を考慮しつつ、
安定的な株主還元を継続することを基本方針といたします。

- 配当金と自己株式取得合計の**株主還元率40%**を目処といたします。
- 当期純利益の増強を基本として、**ROE向上に取り組んでいく方針であり中長期的に5%以上**を目指します。

これまでの株主還元の実績

決算期	1株当たり 配当額(年額)	配当性向	株主還元率
2019年3月期	期末 60円 中間 第四銀行 45円 北越銀行 30円	35.0%	※1 42.0%
2020年3月期	120円	42.5%	42.5%
2021年3月期	120円	50.7%	50.7%
2022年3月期	120円	36.1%	36.1%
2023年3月期	120円	30.6%	※2 39.2%
2024年3月期（予想）	140円	31.2%	—



※1：両行の連結当期純利益の合算値を分母として算出。2019年2月～3月にかけて自己株式取得を実施済（取得価額999,689,000円）

※2：2023年2月～3月にかけて自己株式取得を実施済（取得価額1,499,887,200円）

投資魅力の向上と長期間保有していただくことを目的とした“株主優待制度”

対象の株主さま

毎年3月31日を基準日とし、100株（1単位）以上の株式を継続して1年以上保有（毎年3月31日および9月30日現在の当社株主名簿に、同一株主番号で連続して3回以上記録）する株主さま

＜保有株式数＞

＜優待品の金額＞

100株以上1,000株未満

2,500円相当

1,000株以上

6,000円相当

制度内容

以下の2コースのいずれかより、保有株式数に応じてお好みの優待品をお選びいただけます

1

第四北越フィナンシャルグループ 独自
新潟県の特産品・各種寄付コース



2023年度版
第四北越フィナンシャルグループ
株主優待カタログ | 百株以上の株主さま |



※写真はイメージです。

2

TSUBASA ALLIANCE TSUBASAアライアンス 共同企画
TSUBASAアライアンス
参加各行の地元の特産品コース



※写真はイメージです。

ROE・PBRの推移

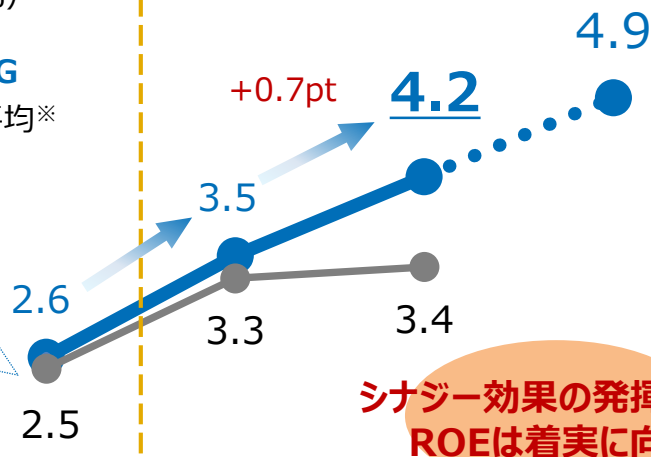
ROE

(%)

- 第四北越FG
- 地方銀行平均※

(2021/1)
銀行合併
新銀行誕生

第四北越銀行



第二次中期経営計画

PBR

(倍)

第四北越
FG

地方銀行
平均※

年度	第四北越FG (倍)	地方銀行平均※ (倍)
2021年3月期	0.28	0.26
2022年3月期	0.25	0.23
2023年3月期	0.33	0.29
2024年3月期 計画	0.40	

+0.08

2023.9.12
現在

0.40

シナジー効果の発揮により
ROEは着実に向上

【参考】

ROE・PBRの関係

PBR

= 1 +

$$\frac{(\text{ROE} - \text{資本コスト})}{\text{資本コスト}}$$

※ 地方銀行平均：東京証券取引所に上場している地方銀行の平均値（当社試算）

持続的な成長の実現に向けて

ROE の更なる向上

→ 収益力の強化・資本効率の改善

第二次中期経営計画

計画の
着実な実行

最重要テーマ シナジー効果の発揮

合併シナジー



グループ
シナジー



TSUBASA
連携シナジー



2024年3月期計画

連結当期純利益
201億円

OHR
65.5%

ROE
4.9%

資本コストの引き下げ

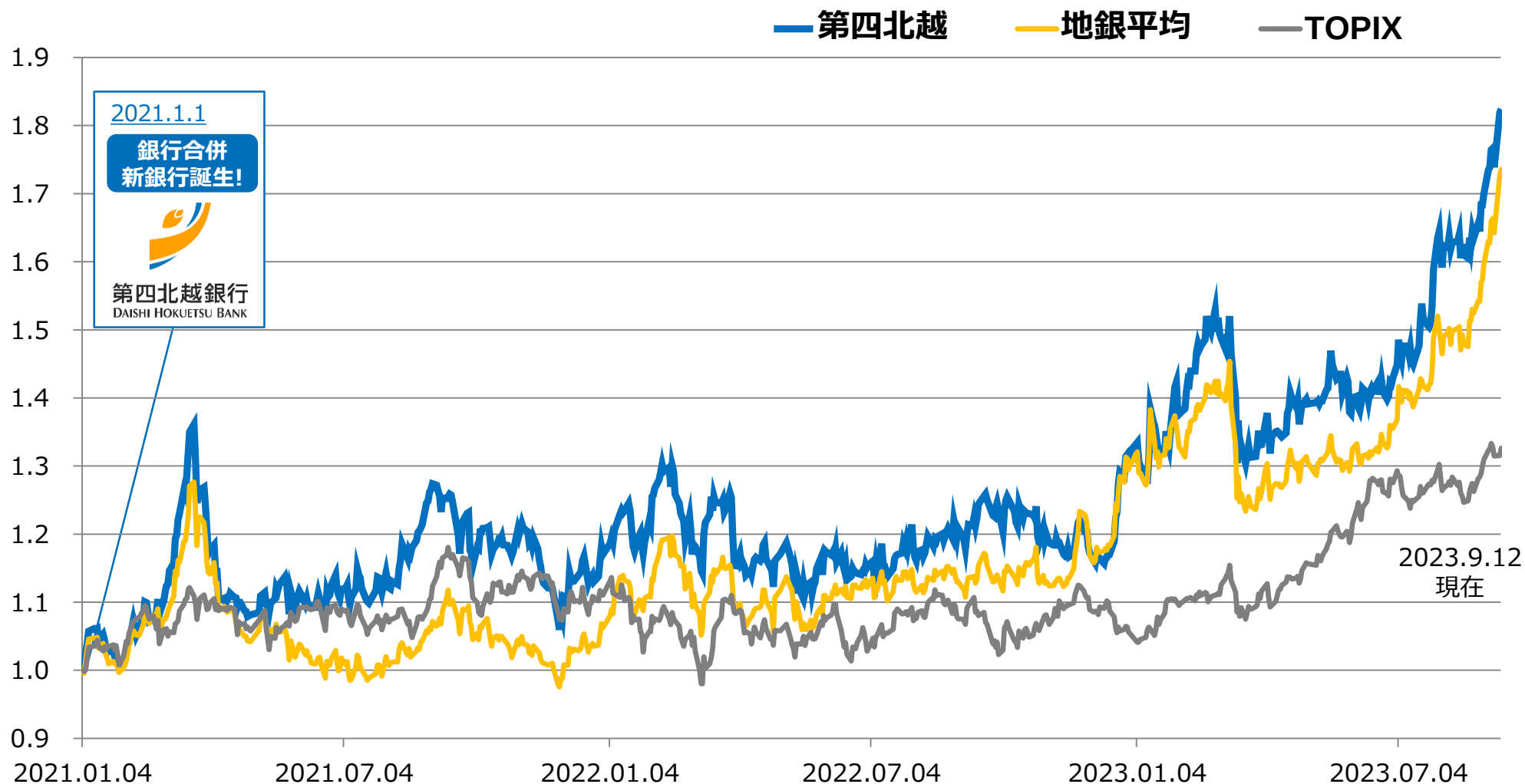
→ 情報開示の充実化

→ 株主・投資家とのエンゲージメント強化

策定中の第三次中期経営計画で企業価値をさらに向上

■ 新銀行誕生後からの株価推移では、地銀平均・TOPIXを上回る水準で推移

【当社株価比較】(2020.12.30=1.0)





DAISHI HOKUETSU

Financial Group

第四北越フィナンシャルグループ

お問い合わせ先

第四北越フィナンシャルグループ

経営企画部

T E L 025-224-7111

E-mail g113001@dhbk.co.jp

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、目標対比異なる可能性があることにご留意ください。